

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 マサル

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	588	—	△185	—	△188	—	△156	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △160百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△34.90	—
24年3月期第1四半期	—	—

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,073	2,631	32.6
24年3月期	7,175	2,810	39.2

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 2,631百万円 24年3月期 2,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,600	86.0	△210	—	△200	—	△205	—	△45.60
通期	8,900	24.1	93	—	110	662.5	54	117.6	12.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,507,575 株	24年3月期	4,505,757 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	9,388 株	24年3月期	8,987 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,496,503 株	24年3月期1Q	4,397,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災復興関連需要を背景に内需関連産業などにおいては、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州財政金融危機などによる不安定な海外情勢に加え、長期化する円高など懸念材料が多く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資は震災復興関連工事の進展などにより増加基調となり、民間設備投資は更新需要、復興投資を中心に緩やかに持ち直してきたものの、労務不足による労務費高騰など利益圧迫要因が解消されず、先行きが不透明なまま推移しました。

このような状況のもと、当社グループは『経営資源の無駄を無くし、最大限に活用する』との年度方針のもと、ITを活用した業務の効率化・迅速化による生産性の向上、工事原価を含むコスト削減活動の強化継続などにより、収益力の改善に取り組んでまいりました。また、グループ会社との相乗効果による受注増強施策等にも注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は24億50百万円となりました。売上高につきましては、5億88百万円となりました。利益につきましては、増収などにより売上総利益は増加したものの、営業損失として1億85百万円、経常損失として1億88百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設工事業)

売上高は4億61百万円となり、セグメント損失は1億60百万円となりました。受注高につきましては、23億34百万円となりました。

(設備工事業)

売上高は1億27百万円となり、セグメント損失は25百万円となりました。受注高につきましては、1億16百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、通期の売上高に比べ、第1四半期会計期間の売上高が著しく低くなっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は80億73百万円となりました。主なものといたしましては、未成工事支出金37億72百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は54億42百万円となりました。主なものといたしましては、未成工事受入金23億24百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は26億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月18日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,458	1,002,124
受取手形・完成工事未収入金	2,452,294	1,684,506
未成工事支出金	2,398,463	3,772,926
材料貯蔵品	10,607	9,504
その他	164,542	388,804
貸倒引当金	△1,207	△831
流動資産合計	5,957,159	6,857,035
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	186,640	184,084
土地	551,163	551,163
その他（純額）	12,297	12,821
有形固定資産合計	750,101	748,068
無形固定資産		
ソフトウェア	10,094	10,826
その他	24,500	24,006
無形固定資産合計	34,594	34,832
投資その他の資産		
投資有価証券	163,018	157,312
その他	343,040	348,803
貸倒引当金	△72,350	△72,350
投資その他の資産合計	433,709	433,766
固定資産合計	1,218,406	1,216,667
資産合計	7,175,566	8,073,703
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,329,387	1,259,860
短期借入金	806,400	619,700
1年内返済予定の長期借入金	380,258	355,832
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	53,849	2,193
未成工事受入金	929,980	2,324,490
賞与引当金	41,787	19,675
工事損失引当金	63,034	110,824
完成工事補償引当金	9,340	9,693
その他	76,107	73,029
流動負債合計	3,790,145	4,875,298
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	385,024	378,281
負ののれん	1,996	1,747
その他	67,929	66,682
固定負債合計	574,950	566,710
負債合計	4,365,095	5,442,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,261,600
利益剰余金	671,192	496,263
自己株式	△3,213	△3,311
株主資本合計	2,815,276	2,640,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,805	△8,555
その他の包括利益累計額合計	△4,805	△8,555
純資産合計	2,810,470	2,631,693
負債純資産合計	7,175,566	8,073,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
完成工事高	588,737
完成工事原価	570,118
完成工事総利益	18,619
販売費及び一般管理費	204,286
営業損失(△)	△185,667
営業外収益	
受取利息	434
受取配当金	761
負ののれん償却額	249
その他	5,694
営業外収益合計	7,139
営業外費用	
支払利息	6,049
売上債権売却損	2,102
その他	1,795
営業外費用合計	9,947
経常損失(△)	△188,475
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,475
法人税、住民税及び事業税	1,081
法人税等調整額	△32,615
法人税等合計	△31,534
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△156,941
四半期純損失(△)	△156,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成24年4月1日
至 平成24年6月30日)

少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△156,941
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,749
その他の包括利益合計	△3,749
四半期包括利益	△160,691
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,691

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。